



様式第1号

### 上浅津集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成27年 9月22日  
修正日： 年 月 日

市町村名	湯梨浜町	組織名	上浅津営農組合
1 地区の範囲 湯梨浜町 上浅津地区			
2 地区の概要			
水田面積	51.6ha	主な水田栽培作目	水稻、大豆、飼料用米 農家数 148戸
認定農業者数	1経営体	人・農地プランの中心となる経営体数	2経営体
3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標			
	【項目】	【現状】	【目標】28年度
組織の概要	設立時期 (規約等の制定日)	平成16年 4月 1日	平成16年 4月 1日
	組織形態 (該当形態に○を記入)	・未組織 ・作業受託型	・共同利用型 ・協業経営型
	構成農家数	70戸	70戸
農地の集積	集積面積 A	25.0ha	26.1ha
	対象水田面積 B	48.6ha	48.6ha
	集積率 A/B	51.4%	53.73%
世代交代への取組			
新規就農者の活動参画			

注1) 目標は、事業実施最終年度の翌年度とする。  
 2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。  
 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。  
 4) 集積率の目標は、50%超が採択要件。  
 5) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。  
 6) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増、世代交代への取組、新規就農者の活動参画のいずれかでも可。ただし、世代交代への取組又は新規就農者の活動参画の欄に現状及び目標を記載すること。

## I 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	<p>農村が抱える課題である農業従事者の高齢化、後継者不足等は、上浅津地区においても深刻化している。さらに、個々の農業者が農業機械を整備・更新すると負担が大きくなり、個人で農地を維持することが困難となると、たちまち耕作放棄地の発生が危惧される。</p> <p>こうしたことから、平成16年に地域の農地は自分たちで守ることを目的として、上浅津営農組合（以下、「組合」という。）を組織し、主に上浅津地区の生産調整を一手に引き受ける担い手として位置付け、耕作が出来ない農業者の農地の耕作を行うこととしている。</p> <p>水田利用集積は、現在、大豆約19.76ha、飼料用米約5.28haを経営（水田利用集積計25.04ha）しており、今後は26.1haを目標にする。</p>
2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策	<p>町から配分された生産調整面積について、個人経営のみではその達成は難しいことから、地域として達成するため、当該組合による大豆ブロックローテーションにより集団転作に取り組んでいる。</p>
3 農業用機械施設の効率利用	<p>当該組合は協業経営を行っており、耕耘から収穫までは組合所有の機械で行っており、乾燥・調整についてはJAの共同乾燥施設を利用しておる。今後も、個人購入はできる限り回避し、組合で共同購入を行うことで、生産コストの低減等を図っていく。</p>
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	<p>本集落では、近年定年退職者2、3名を勧誘しているところであり、今後は、これら若手を中心に機械作業技術習得を進めオペレーター育成を図り、安定的に運営できる体制を整えて行く。</p>
5 経営多角化の方針・具体策	<p>組合の経営発展のため、大豆、飼料用米の経営に加え、ロールペーラを活用した飼料用わら収集（一部作業受託）及び畜産業者へのわら提供を行い、収益向上を目的に経営の多角化を図る。</p>

## II 農業用機械施設の整備方針

### 1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
ロールペーラ		1台	1,114,000	平成27年10月	○
ジャイロレーキ		1台	369,000	平成27年10月	○